

ーボルトの強度及び当該値を踏まえた工具の選択、作業方法等について周知教育が行われていなかった。

3. 再発防止策(例)

(1) ボルトの点検方法を含めた「ボルトの管理、締め付け要領」を策定する。ボルト類は、その材質、強度等、適切なものを使用する。

ボイラー起動後は熱伸びにより初期締め付け状況にばらつきが出る。結果として、漏れを生ずる場合がある。なお、一度使用したガスケットは漏れの原因とな

フレームアイ 『仕事と暮らしに役立つタイミング マネジメント[®]』(最終回) 未来に向かって「ベスト・タイミング」を自らつかむ！

「9月～11月がタイミング」としてやることは何か

夏が終わり今年も残り4カ月となりました。12月～1月の年末年始に続いて年度末までの時期は、組織の内外も慌ただしい雰囲気になります。また、新年度になると組織変更や異動、新入社員の受け入れや新プロジェクトのスタート、プライベートではお子様の入学、転勤、引越など公私ともに忙しくなる傾向があります。その状況変化を予測して、「9月～11月の3カ月間に何をするべきか」ということを冷静に考えることが大切です。この3カ月間は来期以降の成果・結果の向上と今後発生する可能性があるリスクを未然に防ぐための対策を実行する重要なタイミングであることを意識して行動計画を立ててみてください。

目の前にある「緊急で、重要なこと」だけに時間を使うことのないよう「緊急ではないが、重要なこと」(期限を誰も設定してくれない事柄、今やっておかなければあとでリスクが発生し後悔する事柄)に焦点を当てて考えることが重要です。「このままの状態を放置するとまずいのではないか、リスクが発生するのではないか」と不安に思っていることや「ずっと気になっていること」を職場のメンバーで話し合い、書き出してみてください。

着手したいことが数多く挙がってきた場合には、「今、このタイミングでやらないことで発生するリスクの大きさ」を具体的・定量的に見える化し、リスクの大きさを比較して着手する事柄の優先順位をつけることをおすすめします。

研修でタイミングを逃した事例を考察していただくと「毎日忙しくて気になっていることを放置した場合のリスクを立ち止まって考えなかった」「問題であると感じていることでも現在具体的なトラブルになっていなかったもので放っておいた」ということが逃した要因として多数挙がってきます。

忙しくなってしまうと気になることやこのままではよくない・改善が必要だなと感じていることがあっても、「着手できない理由」を探して「この仕事が一段落したらやろう」と後回しにしがちです。どんなに忙しくても「できる理由」を見つけるためには、「自分が大切にしていることは何なのか」という価値観と「自分はこうした

るので、新品に交換することが原則である。

(2) 材質、経年劣化、疲労破壊の特徴、ガスケットの管理や締め付け作業のトルク管理などについての教育・講習を実施する。また、漏えいした際の対応など、緊急時の手順・対処方法を検討し、周知徹底する。

上記は一般的な対策ですが、ボイラーは些細なミスが重大事故に繋がるため、状況に応じた対策が大切です。

(2023年度全国工作責任者大会 厚生労働省特別講演資料より抜粋・加筆修正)

いのか」という明確なビジョンが必要になります。

属人化を解消するタイミングを意識する

さまざまな企業に訪問すると、最近は技術者の高齢化・属人化が課題となっています。「9月～11月の3カ月間がやるタイミング!」として着手する事柄にぜひ「属人化の解消」を入れてください。

技術・スキルの引継ぎがしっかりできていないと担当者が異動になったり、退職でいなくなった時に仕事の生産性が低下し、ミスやトラブルが発生しやすくなってしまいます。企業のリスク管理として最重要項目の一つだと思います。

「あの時、あの人が気づいてくれたから事無きを得た。事故・災害にならなかった」「あの人はボイラーの音や振動だけで異変に気づく。エンジニアとしてのセンスが違う。スゴイ!」という会話がある職場は「属人化」になっている最たる例です。センスがいい!スゴイ!と言われている人たちのプロの力・技術・スキルとは何なのか?「日常の中で、どのようなことに気を配り、注意を払い、どのようなことをどのタイミングで行っているのか。また、その理由は何なのか」を言語化・文書化することが会社の財産となります。

また、文書で共有しただけでは不十分です。「わかった」と「できる」ことは違いますので実地で体験しながら学び、スキルアップにつなげていきましょう。誰もが同じことを再現できるための勉強会や引継ぎは時間がかかりますので、年末年始に突入する前のタイミング(9月～11月)で行うことが日々の安全管理、成果・結果の向上につながります。

自らタイミングをつかみ、創り、迷わず前へ!

仕事や生活を取り巻く環境の変化が激しい状況が続いていますが、先が不透明な時代だからこそ、「本気」の気持ちがタイミングをつかむエンジンとなり、充実した成果・結果につながります!自らタイミングをつかみ、創り、迷わず前へ前進していきましょう!

この連載も今回が最終回となりました。今までお読みいただきまして誠にありがとうございました。皆様のご健康とご活躍を祈念いたします。

(株)プライムタイム 代表取締役 坂本敦子)